



Facebook

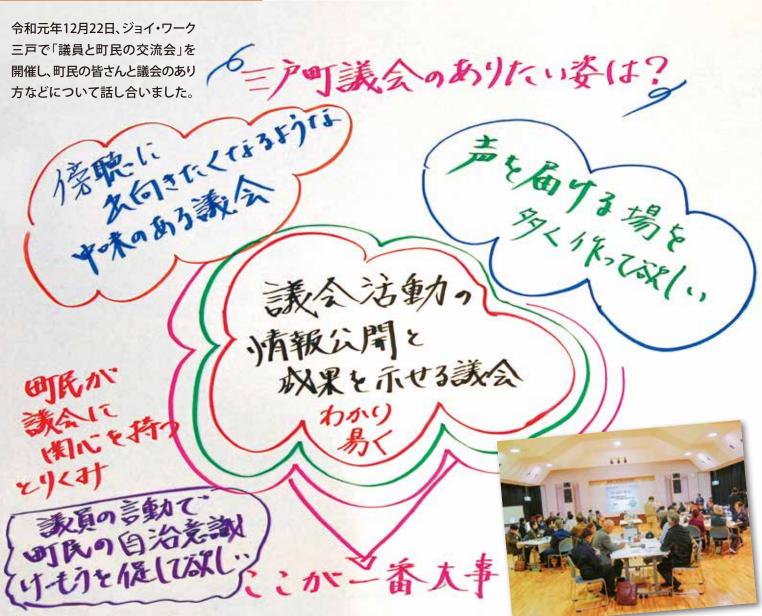


Twitter

第183号(令和2年2月18日号)

P2	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Р3	
P10	
P11	
540	400mm 00×000

P12 ··········· 視察報告、3月議会予定



町民の 皆さまへの お願い 政治家に対し、寄附をするように勧誘や要求をすることは禁止されています。 政治家を威迫して、あるいは政治家の当選または被選挙権を失わせる目的で 勧誘や要求をすると処罰されます。政治家名義の寄附を求めることも禁止 され、威迫**1して求めると処罰されます。(※1 威迫…脅して従わせようとすること)



とうなったがしょうの一一一人とックアップ特集

「12月議会を見学して感じたこと」

~ 傍聴した皆さんにご意見をいただきました ~

馬場のぼる作「11 ぴきのねこ」こぐま社刊より

第485回 定例会傍聴者から議会へのご意見、ご感想

1	新議員の新しい町づくりの感がある。新議員は勉強している(他町村との比較など)。役場側は打てば響くような答弁をして活気を見せてください。新議員のアイディアを謙虚に受け入れて役場職員を動かしてほしい。 (町内 70 代女性)
2	議員の質疑の雰囲気が「エー」と「アー」だった以前とはうって変わり、議員の若返りとまちづくりへの意欲が感じられた。今の議会に「町は変われる!」という一筋の光を見つけることができました。 (町内 70 代女性)
3	質問の意味がわかりづらいです。 (町内 50 代女性)
4	新しい議員さんの中に、あいさつを知らない人がいる。 (記載なし)
5	ふれあい公園のトイレの質問はうれしく思っている。 (記載なし)
6	一年ぶりの議会傍聴だったが、議員が新しく、年齢が若くなったせいか、議場の空気が新鮮に感じられた。これからの希望のある三戸になることを望みます。全国的に悪いイメージとなった三戸町が、以前より良いイメージの三戸町になることを望みます。遠くに嫁いでいる娘から「三戸町出身と言うのが恥ずかしい」とたびたび言われ、一町民として恥ずかしい思いをしてきました。これからの三戸と議員の皆さんのがんばりに期待しています。(町内 70 代女性)

今回が一番活気があった。今までの人任せの質問より、

7	質問が始まってダラダラと1時間あまり、聞いている方はイライラして話に集中できませんでした。質問している本人もどこで止めたらよいのかわからなくなっているように見えた。このことに対して中止の言葉が議長から出せないのか。議員全員の質問に期待していたがこれから先が思いやられる。期待していた方が悪いのか。(町内70代女性)
8	初めて傍聴したが、三戸町の発展のため身近な事を議 論しているのだと思いました。(町内 70 代女性)
9	自分たちの選んだ議員の質問や役場職員の答弁などを 聞けて参考になりました。もっと多くの町民の方に聞い てもらいたいと思う。(町内 70 代女性)
10	議員の質問の仕方がおもしろくない。口でゴモゴモ言っているのは飽きる。議員の人たちのしゃべり方を勉強させた方がいい。 演台に手をついて話すなど、質問者の姿勢がよくない。 議員の方には口では素晴らしいことを言っているが、やっていることが全然違うと思うような人がいる。心から町のために尽くしたいと思うような議員になってほしい。 (記載なし)
11	議員は町民の代表として行政側に質問する役割であり、 行政と一緒に町を良くする立場であると思うが、行政の 上げ足をとるのみで見苦しい。 まちの楽校についての質問について、もっと深く掘り下 げてもよかったのではないか。(記載なし)
12	議員の質問姿勢と職員の答弁姿勢について、互いに熱 意がほしい。 (町内 70 代女性)



※このほかにもたくさんいただきました、行政側へのご意見については、町長部局へ伝えておりますので、ご了承ください。

12月議会は多くの方が見学に訪れました。 見ている人が多ければ、議員への目も当然厳 しくなり、議員は演台に立っていて気が引き 締まります。

皆さんのご意見を真摯に受け止め、今後も 議員の資質向上に努めます。ありがとうござ いました。 三戸町議会議長 澤田道憲







聡さ

Q 三戸町のまちづくりの今後

質問します。 今後の課題等について以下のとおり はないが、町長のまちづくりの実績と 果を町政に反映しているかも明確で 財塾などのソフト面に力を入れてい るが、人財塾は毎回同じ顔ぶれで、結 町長は対話を重視し、まちづくり人

②具体的目標、事業、行動 ①現在までの取り組みと実績

③実績を生かす仕組み

④町が抱える重点課題

⑤課題克服のための施策

⑥まちづくりの最終目標

松尾町長

①平成29年度に三戸町まちづくり人 財塾を開講し、ファシリテーターの 講した。 養成を実施し、 延べ520人が受

③ファシリテーターの実践の場として ②平成30年度の「さんのヘYORIA 期総合振興計画へ反映させる。 ー未来会議」で得られた意見を次

> これまで2町内会でまちづくり懇談 会を実施した。

⑤状況は厳しいが、新たな施策を立案 ④対話において多くの課題があげられ していく。 たが、その根幹は人口減少である。

⑥町民一人ひとりが地域の一員として 町になることが目標。 集い、共生、協働のまちを創出し、 にぎわい、生きがい、笑顔あふれる

再質問①

財塾参加者を募ってはどうか。 町内会や各種団体をハブにして人

A まちづくり推進室長

より運営していきたい。 現在把握している人材の登録制度に

再質問②

ないのか。 塾の場所や曜日、時間を変えるなどし 多くの町民と対話するために、人財

まちづくり推進室長

が人を呼ぶ形で仕掛けていきたい。 気軽にどんどん参加できるよう、 人



Q まちの楽校について

事務調査時に、その場で補助金がどの

先日の民生商工常任委員会の所管

の売り上げもある。 金が交付されているが、宅配や食堂で まちの楽校には570万円の補助

思うが、未来に向けた補助金のあり方 であると考えるが、町長の考えは。 を考えると、自立に向けた努力も必要 づくり事業のための人件費が主だと 補助金の使途は商店街のにぎわい

A 松尾町長

いて補助対象としており、食堂等の利 健康教室など、公益性の高い事業につ 達人工房、宅配事業、高齢者支援の している。 益のある事業については補助対象外と まちの楽校には、100縁勝店街、

らのヒアリングを行い、事業を詳細に 定している。来年度以降も、事業者か り、今年度は550万円に減額を予 分析し、その結果から自立運営に向け た支援の見直しを行う。 補助金額は昨年度から見直してお

立りっぺい

団体は口頭でなく文書で明細に説明 すべきと思うがどうか。 しかなかった。補助金をもらっている ように使われているか、口頭での説明

A まちづくり推進課長

な説明資料を配布したが、詳細な決 算資料は配布しなかったことをお詫び します。 所管事務調査時に当課において簡単

いきたい。 わせを行い、 状況であったことから、今後そういっ た調査の際には、会長と十分に打ち合 当日は、まちの楽校の会長もいない 会長同席の上で対応して

まとめ

ていただきたい。 私は考えるので、担当課長から指導し 用意して説明するのが当たり前だと 補助金を貰っている団体が資料を











Q 子育て支援について

①妊娠期から子育て期にわたる切れ 施が必要と思うが、町の考えは。 目のない支援を行う「子育て世代包括 支援センター」の設置と産後ケアの実

②近隣の民間医院に小児科が開設さ の常勤化は期待できるか。 の声が聞かれる。三戸中央病院小児科 れたが、地域としてはまだ不便・不安

③子どもが遊ぶ公園等の遊具やトイ レなどの管理・整備状況は

A 松尾町長

①子育て世代包括支援センターは、 まえた実施体制の構築のため、現在 年度の設置に向けて現在準備を進め 情報収集している。 ている。産後ケアは当町の実情を踏 来

②引き続き常勤化へ向けた取り組み 保に努める。 町民の安心安全のため、医師確

③各課が適切に管理している。今後も べるよう安全管理に努める。 子どもたちが安心してのびのびと遊

再質問① (質問①関連

ていただけるか。 る支援事業に備えてほしいが検討し りでも多くの次世代の保健師人材を 確保し、現場経験を積ませ、増え続け 産後ケアや虐待防止のために、ひと

A 健康推進課長

ろであれば、いい保健師も集まると思 われるので、しっかりと教育体制につい ても指導していく。 いい子育て支援を実施しているとこ

再質問2 (質問②関連)

ないか。 連携で提言したり、話題にしたりでき ないか」と言う声が聞かれるが、地域 察日時が重ならないように調整でき 「三戸中央病院と近隣の小児科の診

A 三戸中央病院事務長

協力できることは協議等進めている。 定期的に会議をし、意見交換により

いて」「認知症カフェの状況」など ※その他の質問 「町の奨学金制度につ



文がながれ

Q 1 農林水産業振興策について

あることが重要であるが、町の取り組 いて伺います。 事業の費用対効果と今後の展望につ みのひとつである木の駅プロジェクト 業、さらには林業、内水面漁業の発展 には、より収益力が期待できる産業で 本町の基幹産業のひとつである農

A 松尾町長

行した。 受け入れ、地域通貨を約60万円分発 れまで未利用材を120立方メートル 境譲与税を活用して実施しており、こ この事業は国から交付される森林環

も事業を通じ林業振興に努める。 環境面での効果が得られており、 意欲向上による山林の育成・整備など これによる経済効果のほか、 ・会員の 今後

Q2 三戸高校への支援について

ついても強い危機感を持たざるを得 へん厳しく、地元の三戸高校の今後に 昨今の郡内県立高校の状態はたい

> くのか。 ないが、町として今後どう対応してい

A 松尾町長

なるよう取り組む。 重要課題。魅力化や人が集う高校と をもっており、何としても回避すべき をかける一因となるため、強い危機感 招き、少子高齢化と人口減少に拍車 高校の統廃合は子育て世帯の流出を

A 友田教育長

を創設した。 の受験や資格取得を支援する補助金 昨年度、三戸高校生徒の検定試

支援に努める。 するため、三戸高校が同事業へチャレ 育改革推進事業を来年度2倍に拡大 ンジできるよう働きかけるなど一層の 国は地域との協働による高等学校教

きかけを継続する。 高連携の実績をもとに存続に向けた働 また県教委にも小中一貫教育や小中

管理事業の状況 ※その他Q1関連「内水面漁業振興策 |耕作放棄地の現状と回復」 「農地中間

いきたい



中なかの

Q 1 三戸町の宿泊施設について

あっても二戸、八戸に宿泊している ポーツ大会、合宿、冠婚葬祭などが かった意見が、宿泊施設がなくス 化対策特別委員会で町民から一番多 現在町には宿泊施設がない。活性

きた金になるかもしれない。町長は 自ら行動する考えはないか。 ないが、町の活性化につながり、生 事業としては赤字になるかもしれ というものである。

松尾町長

の創出、町経済の活性化につながるた め、新設を強く願っている。 宿泊施設は町の観光振興、にぎわい

備の検討を指示している。 が必要とのアドバイスを受けたことか ら、担当課へ誘致奨励のための条例整 者と意見交換し、誘致には優遇措置 ら専門業者が望ましく、これまで関係 設置者は持続可能な経営の観点か

Q2 飲食店の活性化について

もしれない。 が多く、5年後には多くが閉店するか ある。しかし、町内の事業主も高齢者 く、三戸町に来ている人が多いようで 三戸近郊の町には飲食場所が少な

るか。 り、 飲食店の活性化策を町では考えてい 今のうちに行政が企業に助成した 空き店舗を活用したりといった

松尾町長

行ってきた。 い手のキャリアアップや商店街を元気 ほか、飲食店に限らず地域産業の担 にするための事業への補助を継続して 町ではこれまで、商工会への補助の

が長く継続することや、事業継承希望 和するなど支援内容を拡充している。 者があれば、それがスムーズに進むよ る事業への支援が有効活用され、事業 支援制度を創設し、 昨年度は空き店舗活用による創業 今後も事業者自ら魅力を向上させ 関係機関と連携し活性化に努めて 現在は要件を緩



Q2 三戸町の活性化に向けて

町の活性化には「人」の力が必要で

Q 1 三戸町雇用対策協定について

が、この協定について2点伺いま 待できる素晴らしい取り組みである 内事業所の人材確保や地元就職が期 雇用対策協定を締結したことは、町 3月に町がいち早く青森労働局と

②10月29日の企業説明会の効果は。 ①現在の具体的な取り組みは。 また、参加した4事業所はどのよう に選定したのか。

松尾町長

②参加した4事業所のうち2つの事業 ①10月29日実施済みの一般向け説明会 うが求職者とのマッチングが図りや 説明会も実施することにしている。 のほか、三戸高校生徒向けの企業 によるもの。 すいというハローワークのアドバイス 所で計3人が就職決定した。 選定は4種以上の職種があったほ

やまだ

A 松尾町長

の展望は。

業を行い、効果を得たのか。また今後 関係人口の増加のため、町はどんな事 ある。定住人口減少の中、交流人口や

創出につながった。 トレインの運行により、ねこや電車ファ ンを中心とした交流人口、関係人口の 今年度「11ぴきのねこ」ラッピング

も関係人口の創出が図られる。 地域商社による地場産品販売の推進で おり、さらには会津若松市との交流や と納税で応援するリピーターも増えて 三戸町まで来られなくても、ふるさ

再質問①

た交流人口の増加の考えはないか。 道の駅を拠点に周辺施設を活用

松尾町長

各自治体で現在勉強中である。 内外を行き来する連携ができないか 心に電動レンタサイクルを整備して町 まだ構想の段階だが、道の駅等を中





Q



新年度の補助金の扱いについて

せ、 えるが、町長の考えは。 課題、今後の目標などを議会に知ら うか町民にわかるよう、その用途や 補助金が、有効に使われているかど たり、町が各種団体に支出している 令和2年度の予算編成や執行にあ 補助金の必要性を示すべきと考

松尾町長

当かなどを精査している。 支援が必要な事業か、補助金額が妥 公益性や有効性がある事業か、町の 予算編成においては、その事業が

申請手続き書類、 執行に努めている。 体監査での意見などを伺い、 審査し、監査委員による財政援助団 にあたっては、 綱を定めており、さらに事業の実施 経費や補助率等を明確にした補助要 また補助金予算の執行には、 担当課が事業内容や 実績報告書などを 適正な 対象

公益性の高い事業を効率的に実現す 補助金はさまざまな分野における

> 民協働、地域活性化の視点から有効 た意義は大きいことから、今後も住 かつ適正な執行に努める。 れた事業も本町の行政遂行に果たし る有効な手段であり、これまで行わ

再質問1

ど、それぞれの分野で町が補助金を 出している事業がある。 総務文教、民生商工、建設農林な

にこれぐらい支出していると議会に に望むためにも、どのくらいの団体 示せないか。 それをわかって予算・決算委員会

A 総務課長

くのが本来の姿である。 が手順であり、意見は議会でいただ れを議会に提出して承認を受けるの 予算は最終的に町長が編成し、こ

と考える。 く形からスタートしていただきたい 前もってご覧いただいて審議してい 金」という項目があるので、それを 予算書には「負担金補助及び交付



博なる

1 町の公共施設等について

Q

替え予定はあるか。 ④老朽化している町民体育館の建て ③町営住宅の利用率と今後 ②旧三戸中学校跡地の利用予定は、 か、再利用するのか。 ①旧三戸北小学校校舎は撤去するの

松尾町長

③町営住宅203戸のうち67戸が老 ②民間による公営住宅整備の候補地の ①土砂災害警戒区域にあるため、 者の退去後に解体予定。 朽化による空き家。古いものは入居 状の倉庫としての利用を継続する。 一つとして現在検討中である。 現

A 友田教育長

④建て替え予定はない。公式試合には 慮した維持管理を行う。 アップルドームや学校体育館も活用 しており、 町民体育館は安全に配

現在旧三中技術棟を相撲の練習所

くる必要があるが、どこに作るのか に伴う壊体前に、新たに練習場をつ として利用しているが、警察署建設

総務課長

いる。 向かいの元農業普及所事務室も考えて 砂災害の危険があるため、町民体育館 候補としては北小跡地もあるが、土

Q2 三病の看護師について

後どのように利用するのか。 ②看護師寮はどの程度利用され、 あっせん業者を利用するのか。 採用人数は。また採用にあたり、 ①令和2年度の三戸中央病院看護師 今

松尾町長

①直接募集では10人の募集に5人の応 せん業者は人材確保のため利用して 募があり3人が採用決定済み。

②看護師寮は看護師の宿泊のほか、医 として利用している。今後も利用し また医師や技師の宿泊や待機場所 師や看護師の研修時宿泊所として、 やすいよう、受け入れ環境を整えて



竹原義人

Q1 町の行事・事業の

町では毎年の恒例行事のほか、今年のような特別な式典が開催される年もある。町では「対話」「協働」で進めようというが、事業の企画や成果、検証に町民の意見は入っていない。そこで「町制施行百三十周年記念式典・事業」「海外姉妹都市交流事業による人業」「海外姉妹都市交流事業による人権育成」の立案から成果までを伺います。

A 松尾町長

ムワースによる相互訪問協定に基づい海外姉妹都市交流事業は、町とタ

たもので、平成30年に国際交流委員たもので、平成30年に国際交流委員がの交流の歴史を再認識し、これからの両自治体を結びつける役割を担うこのが自治体を結びつける役割を担うことが成果である。

再質問①

意見を求めなかったのか。事業の計画に町民や町内団体から

総務課長

施した。 以外の記念事業を官民の事業として実 町民と祝う機会を大事にし、式典

Q2 町民の生活基盤給水事業

援制度はないか。
け入れにも影響するが、改修等への応があった。人口減少や農業修学旅行受水や湧き水が枯れた自家水利用世帯スこ数年の異常気象等により、井戸ここ数年の異常気象等により、井戸

A 建設課長

度について検討したい。生活に必要なものなので、何らかの制ないが、独自に出す都市もある。水はないが、独自に出す都市もある。水は国等には井戸を掘る補助金は見られ



栗谷川柳子

Q 1 城山公園の利用計画について

点質問します。 の期待も高まる城山公園について2 以上の参加者が集い、国の史跡指定へ以上の参加者が集い、国の史跡指定へ

①城山の本質的価値と今後の利用計

A 松尾町長

用を進める。

田史跡指定が現実味を帯びており、国史跡指定が現実味を帯びており、

ト事業計画はあるか。 歴史を知り、誇りにできるようなソフ を立む、世代や子どもたちが南部氏の

A 友田教育長

500人以上が利用している。 教育委員会では、地域の歴史、文 教育委員会では、地域の歴史、文 教育委員会では、地域の歴史、文

川柳子 再質問①

議員

国の史跡指定によるメリットは。

教育委員会史跡対策室長

となり交流人口が増えること。町の宝であった三戸城跡が、国の宝

まとめ

利活用できるよう抜かりない配慮を。え、町一丸で史跡指定を歓迎し、城山を解と協力のお願いを早い段階で町民に伝解と協力のお願いを早い段階で町民に伝

Q2 補助事業の周知について

の公開はできないか。補助事業の報告会の開催や、財務諸表町が筆頭株主の地域商社について、

まちづくり推進室長

ムページ等で公開する。 ・ 地域商社の事業について12月から町ホー会となる。財務諸表は1月から町ホー が表会も行うので町民の意見を聞く機 期的にお知らせすることにし、新商品 がは、新商品

体制について」 ※その他の質問「災害時の避難誘導





存続についての町長の考えは **Q1** 杉沢小中・斗川小の

税金から支出されているが、町長は スクールバスの委託料などの費用が され、その他にも先生らの人件費、 ②両校には町から維持管理費が支出 の推移予想は。 ①今後5年間での両校の児童生徒数 ついて以下についてお聞きします。 杉沢小学校、斗川小学校の存続に

松尾町長

今後両校をどのようにする考えか。

①5年後の児童生徒数は杉沢小中学 想である。 校が6名、 斗川小学校が24名の予

②小規模校には小規模校の良さがある り子どもたちの意見を尊重して判断 断ではなく、地域や保護者、 必要になる。今後は運営経費での判 が、部活動などでは相当な工夫も していきたい。 何よ

再質問①

ど苦しんでいる方もいるが、教育委員 が子が孤立するのではないか、閉校し 会は寄り添う努力をしているか。 の目がありあきらめざるを得ないな 活のため三戸中に通わせたいが、地域 たら通学に30分かけるのは無理だ、部 保護者の中には、子どもが減ってわ

教育委員会事務局長

緒に行ったりと、交流により不安の解 戸高校に支援していただいたり、三戸 消に努めている。 小の三沢基地訪問を斗川小の児童も一 杉沢小中の部活動や団体競技は三

Q2 三戸小中校舎の修繕について

繕ができないか いて、間に合わせではなく抜本的な修 完成から35年たつ三戸小校舎につ

友田教育長

進めている。 目指し、来年度の予算化に向け準備を 雨漏りしている場所の抜本的修繕を



正まさよし

Q1 三戸中央病院について

えているか。 持すべきだと思うが、町長はどう考 き地医療、介護を含む在宅医療は堅 いことから、病院の存続も含め、へ 三戸中央病院の役割は非常に大き

A 松尾町長

を提供するため、確実に存続させてい として、地域医療を確保する重要な きたいと考えている。 案しながら、町民にとって必要な医療 役割を担っており、医療需要などを勘 三戸中央病院はへき地医療拠点病院

Q2 国民健康保険について

陥る人の割合が高いにもかかわら 筋骨格系の疾病により要介護状態に き、筋力低下と相まって骨粗鬆症、 呼ばれ、肥満者でリスクが高い人ば ことになった。 かりに目が行き、貧栄養状態が続 特定健診は、なぜかメタボ健診と これらの人に目が行かず漏れる

討はないか伺います。 栄養士の採用や、常勤的な雇用の検 鬆症の予防に重要な役割を担う管理 指導や、筋力低下とともに進む骨粗 理栄養士の活用が必須であることか は、 ため、また筋力低下を防ぐために 糖尿病重症化に対する持続的な 直診病院の協力を仰ぐことや管

松尾町長

ることは必要であり、筋力低下などの ると捉えている。 フレイル対策は今後の重要な課題であ 将来を見据えて保健事業を展開

現在町内21地区で実施されており、 理学療法土などの派遣を受け開始し、 通いの場の運営支援を三戸中央病院の 後も支援を継続していきたい。 町では、平成26年度から住民主体の \Rightarrow

と考えている。 きることから検討する必要があるもの と、一貫した保健事業の展開が期待で ることにより、長期的なビジョンのも 管理栄養士を町の職員として採用す

税負担や国民健康保険料の軽減の

町が早期に取り組むべきではないか。 記されているのだから、民間と別に



佐々木和志

A 住民福祉課長

民間でできることは民間でが基本で

1

病後児保育について

院で実施できるか検討したい。 め、看護師が確保できる三戸中央病 Q2 城山公園の整備計画について

町直営も検討しなければならないた あるが、なかなか進まないのであれば

議会臨時会が開催され、

町長の専決

昨年10月29日、

第484回三戸町

第484回 三戸町議会臨時会

にも、保護者が安心して子どもを預

少子高齢化に歯止めをかけるため

をどう考えているか。 と考えるが、今後の整備計画の進め方 備は将来のまちづくりの一翼を担う 城山公園の歴史をテーマにした整

町は今後取り組む考えはあるか。

るが、全町営保育所が閉所となる中、 後児保育の環境の整備は必要と考え け、仕事に専念できるよう、特に病

A 松尾町長

計画策定を進めていく。 め実施しているが、さらなる充実のた 城山の整備は毎年度整備計画を定 庁内に整備検討委員会を設置し、

再質問1

する。

再質問①

きるよう問題解決への支援をするとと

もに、公的施設での実施が可能か調査

業であり、

引き続き民間施設で実施で

できず実現していない状態である。子

実施の意向があったが、看護師を確保

今年度民間保育施設で病後児保育

松尾町長

育て支援策として早期に実現すべき事

もって取り組むべきでは。 スのひとつとなるよう、スピードを 南部町、二戸市、盛岡市の歴史コー

まちづくり推進室長

町の子ども・子育て支援事業計画に

病後児保育と言うメニューが明

国の子ども・子育て支援法にも、

スピード感を大切にして進める。

事項の報告のほか、任期を迎える教 育長の任命、台風19号被害復旧関連 の補正予算が話し合われました。



再任された 友田博文教育長

10月臨時議会で審議された議案と議決結果

議案番号	件 名	議決結果				
報告 第 12 号	専決処分した事項の報告について 【概要】個人が町道を走行中に側溝のグレーチング蓋が跳ね上がり車体を損傷したため、 法に基づき損害賠償額5万7,240円を専決処分したことの報告。	報告済				
議案 第 72 号	三戸町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 【概要】友田博文氏を三戸町教育委員会教育長に任命するため、議会の同意を求めたもの。	全会一致 にて同意				
議案 第 73 号	令和元年度三戸町一般会計補正予算第4号 【概要】10月12日から13日にかけての台 風19号で被災した農地や畦畔、町道等の 復旧に係る経費2,443万円を既決予算額に 追加するもの。	原案可決				

12月議会で審議された案件と議決結果一覧

議案番号	件 名	議決月日	議決結果
報告 第 13 号	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を決定することについて) 【概要】公用車と民間の自動車の交通事故に伴い、法に基づき相手方へ損害賠償 を行ったもの。	12月11日	報告済
議案 第 74 号	三戸町監査委員条例の一部を改正する条例案 【概要】地方自治法の一部改正に伴い、引用している条例の一部を改正するもの。	12月11日	原案可決
議案 第 75 号	三戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】地方公務員法の改正に伴い、当該条例の「成年被後見人および被保佐人」 に該当することを理由に失職した場合の給与の取り扱いについての文言を削除。	12月11日	原案可決
議案 第 76 号	三戸町保育所設置条例を廃止する条例の制定について 【概要】令和元年度をもって中央保育所が閉所するため、条例を廃止するもの。	12月11日	原案可決
議案 第 77 号	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について 【概要】三戸郡福祉事務組合の解散に伴う構成組織の減少と規約の変更について 議会で議決するもの。		原案可決
議案 第 78 号	三戸町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 【概要】12月 26日で任期満了となる寺牛精一郎氏を再任するもの。	12月11日	原案同意
議案 第 79 号	令和元年度三戸町一般会計補正予算(第5号) 【概要】ふるさと納税寄付金8,500万円の歳入増や、ふるさと納税事業費8,765万円の支出増などにより、歳入歳出ともに9,590万円増額するもの。	12月11日	原案可決
議案 第 80 号	令和元年度三戸町営簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 【概要】杉沢地区簡易水道整備のための中山間地域総合整備事業負担金 255 万円 の減額などにより、歳入歳出ともに 215 万円を減額するもの。	12月11日	原案可決
議案 第 81 号	令和元年度三戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号) 【概要】総務費 698 万円の支出増などにより、歳入歳出ともに 698 万円増額 するもの。	12月11日	原案可決
議案 第 82 号	令和元年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算(第3号) 【概要】職員給与費896万円の支出減などにより、既決予算額を465万円減額 12月11日 原案可するもの。		原案可決
議案 第 83 号	三戸町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】法改正により成年被後見人の印鑑登録が可能となるため、条例も合わせ て改定するもの。	12月11日	原案可決
議案 第 84 号	土地改良(災害復旧)事業の施行について 【概要】台風 19 号により被災した農地 2 か所、農業用施設(道路) 1 か所の災 害復旧事業を施行するため、法の規定により議会の議決を行うもの。	12月11日	原案可決
議案 第 85 号	令和元年度三戸町一般会計補正予算(第6号) 【概要】台風 19 号により被災した農地 2 か所、農業用施設(道路) 1 か所の災 害復旧事業費として歳入歳出ともに 540 万円増額するもの。	12月11日	原案可決
意見書案第3号	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書案について 【概要】若い人も高齢者も安心できる減らない年金制度の確立を求める意見書を関 係行政庁へ提出するもの。	12月11日	原案可決
意見書案第4号	地域医療を守り公立病院等の維持・存続を求める意見書案について 【概要】地域医療を守るため、公立病院等の維持・存続を求める意見書を関係行 政庁へ提出するもの。	12月11日	原案可決
意見書案第5号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書案について 【概要】災害被災者の生活の安定と被災地の速やかな復興を図るため、住宅再建 に係る国の支援の拡充を求める意見書を関係行政庁へ提出するもの。	12月11日	原案可決

動レポ



総務文教常任委員会

栗谷川功·中平

町内小中学校と消防団 $\overline{\mathcal{O}}$

運営状況を調査 $\widehat{11}$ 月8日)

【調査場所】

- 斗川小学校 ・三戸小中学校
- 杉沢小中学校

【調査結果・意見】

だきたい。 えるよう検討していた ては、早急に要望に応 わる施設整備等につい 安全対策に直接的に関 に児童・生徒 むね良好であるが、 び施設整備状況はおお 学校施設の運営およ の学習、

• 消防団

る 両 した屯所等の建物は、 の更新等の要望があ 各分団の消防屯 が、特に年数が経 防火水槽、 消防 所

> う検討を。 的に要望にこたえるよ

よう、 どについて本格的 おり、将来的に消防団 保が難しくなってきて 討に着手を。 活動に支障が生じない また、 組織のあり方な 消防団員 な検 0)



民生商工常任委員会

栗谷川柳子·髙森正義大向信市·赤塚立平

澤田道憲

日

(調査場所)

財政援助団体等の事業運営状況について(11月20

- ・まちの楽校
- 株式会社SANNOWA

(調査結果)

・まちの楽校

やっているが、 髙森委員 この補助額でよく ちんと説明できるように。 お金をどう使っているのかき しっかりと。 事業の検証を

お試しサテライトオフィス

赤塚委員 事業実施者が町 0)

オフィス

・株式会社SANNOW

率を考えて運営を。

栗谷川委員:宅配は必要な事業なので効

人もわかるように店頭に工夫を。 大向委員 どんな事業をしているのか町

栗谷川委員 試食会などで地元の巻き込 み力も大事に。

機会にもっとPRを。 東京等での町紹介の ネットと並行して、 澤田委員 インター ・お試しサテライト

建設農林常任委員会

山田将之·藤原文雄 久慈 聡·番屋博光

全陳情場所の現地調査 11 月14日、12月19

【調査場所】

択したすべての場所 これまで議会が陳情を採

(調査結果)

調査の結果から、 委員

会で優先順位について協

考に今後の事業実施につ する。町はその意見を参 会の意見として町へ提案



議・決定したものを委員 いて再度検討してほし

貝

1 月 24

日

行政視察報告

三常任委員会合同行政視察

会津若松市議会 (11月6日)

報告者 山田 将之

● 視察目的

考とするため。 び、三戸町議会の議会改革 の方向性について今後の参 会改革の進め方や経緯を学 持った会津若松市議会の議 形成サイクルの3ツールを 議会改革先進地で、 政策

会津若松市議会 基本条例

平・公正・透明な議会運 これを実現するために「公 など5つの方向性を示して 政策監視及び評価の推進」 指して」を基本理念とし、 合議体たる議会づくりを目 「市民の負託に応えうる 「市民本位の政策決定、

◉ 政策形成サイクル

分けている。 制度検討委員会などに振り 策に練り上げる政策討論会 れに沿って調査研究し、政 民との意見交換を起点とし テーマごとにまとめる。 政策形成サイクルは、 全体会、分科会、議会 広報広聴委員会が政策

に立った政策を

つくることに目

より町民の視点

問に生かしている。 催されており、ここで得た 知見を委員会審査や一般質 定例会閉会中も盛んに開

議員間討議

明責任が十分に果たせな 質疑を中心とする審議、 査では、その議決に係る説 前のような説明員に対する 会津若松市議会では「従

的に議会改革を

議員主導で積極 考えをもとに、

長との関係」「論点、 起の視点」の3つの必要性 の明確化による市民世論喚 論の場としての議会」 している。 により、議員間討議を導入 争点 首

い」という理由から、

討

◉ 視察を終えて

意見交換会を計画している。 「議会は何をやるのか?」 第一歩として、町民との 三戸町議会では議会改革

を向け実施した

片付け、受け付 議員の一貫した け、駐車場の誘 津若松市議会は、 行っており、会 導なども議員が 交換会の準備や 市民との意見

> 進めているように感じた。 より「課題・論点の洗い出 き点であり、三戸町議会で 行っていることは注目すべ おける論点整理・確認」を 委員会を招集し「議員間に し」をし、議会初日に常任 「議事内容の事前調査」に 議員間討議については

も実施すべきと感じた。 、レポートを要約して掲載 しています)



第487回 三河	三町議会定例会(3月議会)予定 ※全日10:00開始
3月23日(月)	開会、組織会
3月24日(火)	町長提案理由の説明、選管委員等の選挙
3月25日(水)	一般質問
3月26日(木)	一般質問、議案審議・採決、予算特別委員会設置
3月27日(金)	予算特別委員会
3月30日(月)	予算特別委員会、本会議、閉会